

【助成採択者情報】 ※申請書記載内容に基づく

採 択 年 度

2019 年度

氏 名

松田 能宣

所 属 機 関

国立病院機構近畿中央呼吸器センター 心療内科

課 題 名

がん患者の呼吸困難に関連する因子の相互作用および因果関係に関する前向き観察研究

助 成 額

1,000,000 円

研究報告概要

がん患者の呼吸困難は非常に頻度が高く、苦痛を伴う症状であり、様々な因子が相互に作用し症状を形成している。本研究の目的は、がん患者の呼吸困難に関連する因子の相互作用および因果関係を明らかにし、治療やケアに必要な呼吸困難の持続・増悪機序を解明することである。

本研究では呼吸困難を有するがん患者を対象に、本邦のこれまでの緩和ケア研究において実績のある施設を中心に、Japanese Organisation for Research and Treatment of Cancer (JORTC)の研究支援を得て、多施設共同前向き観察研究を行う。呼吸困難強度、抑うつ、不安、活動量、身体感覚増幅、アレキシサイミアなどの因子の相互作用および因果関係についてパス解析を用いて評価する。また、呼吸困難時の心身状態および呼吸困難改善のための事故対処に関する自由記述を患者に行ってもらうことで、量的指標と質的指標との関連を mixed method を用いて解析する。

本研究によってがん患者の呼吸困難に関連する因子の相互作用および因果関係が明らかになることが期待され、その結果は日本緩和医療学会の呼吸器症状ガイドラインの呼吸困難の機序に該当するエビデンス創出につながる。また、ガイドラインへの記載を含む、医療者に対する啓発によって、がん患者の呼吸困難に対する多面的なアセスメントおよび治療・ケアにつながることを期待される。